

令和7年度秋期 プロジェクトマネージャ 午後Ⅰ試験 解答速報

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2025.10.16 発表

問1 生成AIを活用したシステムの開発・導入・運用・保守を行うプロジェクトの計画立案

【解答例】

〔設問1〕

講師が個別指導の時間を十分にとれる効果

〔設問2〕

- (1) 過去の SaaS 導入と本プロジェクトとの進め方などの違いを明確化するため
- (2) 学習データの正確性を確保するため
- (3) 学習データを AI に追加で学習させる操作を全ての講師が習得しておくため
- (4) 採点の信頼性に対する経営陣の懸念を払拭し、目標の達成を目指すため

〔設問3〕

- (1) 初期の学習データが不十分でも採点の信頼性を担保する効果
- (2) 生成 AI 導入後には採点の信頼性は一定以上に高まっているため
- (3) 一部の講師は今のやり方に固執してしまうため

問2 製薬会社における CRM 刷新プロジェクト

【解答例】

〔設問1〕

- (1) K 役員の関与度を支持に変えるため
- (2) カスタマイズなしの利用により営業活動の柔軟さ、俊敏さが失われるという懸念を解消するため
- (3) 新 CRM 移行後も W 社の開発・保守の範囲が単純に縮小するわけではないこと

〔設問2〕

- (1) 問合せの集中によりシステムの利用に支障が出ることを防ぐ効果
- (2) I 社でカスタマイズしたい内容を V 社に標準機能として実現してもらうため
- (3) 営業担当者の関与度が抵抗のままになるリスク
＜別解＞ 営業担当者の関与度が支持または中立にならないリスク
- (4) 教育マニュアルの完成が遅れないようにするため
- (5) 現 CRM から新 CRM へのデータ移行を円滑に行うため

問3 プロジェクト実施中の計画変更

【解答例】

[設問 1]

- (1) 規制緩和に対応することによる定量的な効果の提示
- (2) 規制緩和への対応のために開発メンバーに協力する役割

[設問 2]

- (1) 業務部門の目標を含めることでプロジェクトへの責任分担を明確にする狙い
- (2) 業務部門の責任で規制緩和への対応を計画変更の対象に含める狙い

[設問 3]

- (1) 影響を受ける場合に手戻りが発生するリスク
- (2) メンバーを追加しても納期が短くならないリスク
- (3) クリティカルパスを意識してスケジュールバッファを設定した
- (4) スコープ S の完了を優先しスコープ T のリリースを遅らせる計画

